弘前版全世代･全員活躍型生涯活躍のまち
基本計画（第二期）　概要版

令和４年３月　弘前市企画部企画課

1．弘前市の現状

〈豊富な地域資源・魅力〉

・東は八甲田連峰、西は岩木山、南は白神山地に囲まれた津軽の中心地
・岩木川流域の肥沃な穀倉地帯
・全国の約2割を生産するりんごの産地
・四季折々の美しい景観
・神社仏閣、武家屋敷、洋風建築など、各時代の建造物が残る街並み
・さくらまつり、ねぷたまつりなどの行事、津軽塗をはじめとした伝統工芸
・お山参詣や沢田ろうそくまつりなどの伝統文化

〈弘前市の課題〉

・人口減少による地域活力の低下
約19.4万人（平成7年） → 約16.7万人（令和3年） →12.1万人（令和27年・推計）
→様々な分野での担い手不足
・若者の県外流出
・市民や移住者への交流・活躍の場の提供

〈前身事業での取組から見えてきたこと〉

・中高齢者の移住受入については、仕事等の理由で、早期の移住にはつながりにくい
・弘前市と何らかのつながりを持ちたい人がつながることができる仕組みの構築が必要
・イベント等に参加するだけでなく、参画する意識を醸成するための仕組みの構築が必要

２．第二期弘前版全世代･全員活躍型生涯活躍のまち基本計画について

〈位置づけ〉

第二期 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略の、基本目標②「弘前への新しいひとの流れと次の時代を託す人材の育成」においては、継続的かつ多様なかたちで関わる関係人口の創出・拡大に取り組み、効果的に移住者を増やしていくとともに、目まぐるしく変わる地域社会に柔軟かつ的確に対応し、地域社会を牽引する人材の育成を図ることとしており、前身事業の課題等に取り組み、引き続き「生涯活躍のまち」を推進していくことが重要であることから、本基本計画を策定するもの。

〈目指す将来像〉 **誰もが気軽に関わることができ、つながりができることによって活性化するまち**

〈計画期間〉 令和４年度～令和６年度

３．弘前版全世代･全員活躍型　生涯活躍のまち推進事業の取組

１　関係人口の創出

県外在住者に、弘前ならではの体験を通し、弘前に関心を持っていただき、長く関わり続けることにより将来的な移住へつなげ、人口減少の中においても地域が活性化する仕組みを構築する。

①地域に関心を持つ若者を対象とした関係人口創出
②地方への移住を検討している中高齢者を対象とした関係人口創出

＜そのほかの取組＞
●移住お試しハウス
●リモートワーク移住体験モニター事業
●東京圏ＵＪＩターン就職等支援事業
●在京弘前関係者交流会

３．弘前版全世代･全員活躍型　生涯活躍のまち推進事業の取組

２　地域をフィールドにしたひとづくり

企業や大学・高校等と連携し、高校生が地域に関わる機会の創出や、大学生が企業や商店等の経営課題に取り組むことで、地域で人材を育て、地域に還元される仕組みを構築する。

①高校生が地域活動に関わる取組（高校生放課後まちづくりクラブSTEP）
②大学生が地元企業等とともに課題解決に取り組む活動（まちなかキャンパスプロジェクト）

３　首都圏における若者コミュニティづくり

弘前圏域に興味のある学生や社会人がつながることができるコミュニティづくりの企画・運営を行うほか、東京事務所／ひろさき移住サポートセンター東京事務所でコミュニティづくりの企画・運営等に携わるインターンシップを実施することで、関係人口の創出や将来的なUターン移住者の増加を図る。

①若者のコミュニティづくり
②弘前市東京事務所でのインターン生受入
③SNSを活用した弘前の情報発信

４　交流・活躍の場創出

交流拠点で特技や経験を生かし、地域に還元できる機会を提供するほか、拠点同士の交流を図り、地域住民だけでなく学生や関係人口も巻き込みながら、人と人とのつながりを作ることにより、新たなコミュニティや市民活動を生み出す。

①交流・活躍の場創出のためのイベント等開催
②初めての活躍の機会の創出
③学生との連携

3．弘前版全世代･全員活躍型　生涯活躍のまち推進事業の取組（イメージ図）

弘前市

首都圏

●地域をフィールドにしたひとづくり

目的：学生の弘前への愛着心・地元志向醸成、
地元企業の若年層雇用への意識醸成、関係人口の創出

★高校生のまちづくり活動への参加機会創出（STEP）
対象：市内の高校生
内容：高校生が地域に関わる機会を創出

★まちなかキャンパスプロジェクト
対象：県内外の大学生
内容：企業等の地域課題に取り組むインターンの受入

・「課題」を持った企業、商店
・社会福祉法人　・地区公民館　など

●関係人口創出事業

目的：関係人口・将来的な移住者の増加による地域の活性化

★地域とつながる機会を提供
対象：地方に関心がある県外在住の若者
内容：伝統文化、伝統芸能などの体験ツアーの実施や、
地場産業にかかる兼業・副業のマッチング

★弘前での暮らし体験の機会を提供
対象：地方に関心がある50歳以上の県外在住者
内容：伝統工芸体験やボランティア活動などに参加
を通し、弘前での暮らしを体験

・ねぷた・お山参詣等のコミュニティ
・伝統芸能に携わる団体
・りんご農家　・市内の企業等
・福祉施設　・市民活動団体　など

地域を知ることで
様々な活動に参加

●交流・活躍の場創出事業

目的：様々な人が特技や経験等を生かせる地域の居場所の創出
人と人とのつながりができることによる地域の活性化

対象：主に市民（＋関係人口）
内容：交流拠点を中心に、人と人のつながりをつくる機会、
活躍する機会をつくるためのイベント等を開催
★学生や市民活動団体など様々な人が、交流拠点を活用して
イベントを主催したり、講師や協力団体として活動できる
機会を提供

・市民活動団体（ボランティア団体、
１％システム採択団体、
協力隊OB・OGなど）

弘前に
関心を持った人が参画

●首都圏における若者のコミュニティづくり

効果：弘前に縁がある人同士がつながり、
情報共有できる場づくり
→将来的なUターン促進

対象：首都圏在住の弘前圏域出身大学生・
若手社会人
内容：・弘前に縁のある学生・社会人がゆるく
つながれるコミュニティの構築
・東京事務所でのインターン受入
・インターン生が企画等に関わる
移住セミナー開催
・SNSを活用した情報発信

弘前のことを知ろう、関わろう、
弘前へ帰ろうという人を増やす

卒業して県外転出した
若者が参画

４．事業の目標･評価

〈事業の目標設定〉

重要業績評価指標（KPI） ※①～④ともに単年度数値	R3	R4	R5	R6	累計
①弘前市への移住者数	55	60	65	70	195
②弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」関係人口創出事業への参加者数	0	25	35	45	105
③地域をフィールドにしたひとづくり参加者数及び首都圏における若者コミュニティづくり参加者数	0	170	230	275	675
④弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」交流・活躍の場創出事業参加者数	0	300	350	400	1,050

〈外部評価の実施〉

・本市が毎年度各目標値の集計を行い、弘前市総合計画審議会において、個々の事業についてPDCAサイクルによる検証を実施
・その内容については、市のホームページ等で公表